

青字部分がご記入いただく箇所です。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社  
理 事 長 殿

・申請書に記載した内容を記入してください。  
（※「変更届（様式第4-4号）」を提出された場合は、変更届の内容を記入してください。）  
・「代表取締役」「代表取締役社長」等についても正確に記入してください。

所 在

名 称 ○○○○株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 東京 太郎  
電 話 番 号 03-○○○○-××××

令和○○年○○月○○日  
事業完了日（契約、実施、支払いの全てを終えた日）から最長15日以内の日付にしてください。  
（例）事業終了予定日：令和2年6月30日  
事業完了日：令和2年6月25日  
報告書提出期限：令和2年7月10日

申請書に押印した印鑑登録済の代表者印（実印）

令和元年度中小企業技術活性化助成事業実績報告書

令和元年7月10日付31東中企助第713号をもって交付決定の通知があった助成事業が完了したので、下記のとおり報告いたします。

記

1 事業区分 製品開発着手支援助成事業

2 申請テーマ [ ○○の研究開発に係る△△の検討 ]

3 助成事業実施期間 令和 元年 7月 1日～令和 2年 6月 30日

4 助成事業実施内容及び成果・・・・・・・・・・ 交付決定通知書に記載された日付を記入してください。  
（※「事業終了予定日変更届（規定様式）」を提出された場合は、変更届の日付を記入してください。）  
5 助成対象資産表・・・・・・・・・・

6 提出書類 ア 助成事業の実施に係る見積書、契約書、注文書・注文請書  
納品書、請求書、振込控、領収書等

イ 助成事業の成果を明らかにするための  
①写真 ②図面 ③資料 ④登録証・付随書 ④報告書 等

1 助成事業実施内容及び成果

※申請書記載の達成目標の達成度について記載してください。

(1) 事業内容

〇〇の検討に当たり、課題であった△△について調査し試作を重ねたことで方向性が確認できた。××装置を試験した結果は、申請時に想定された程度を上回ることができた。

課題をどのように検討して完了したのかを簡潔に記入してください。

(2) 事業の経過（日程を含む）

- ・申請時点のスケジュールから約1ヶ月遅れて終了した。原因は、□□□の設計変更が生じ、委託先との調整に時間を要したためである。
- ・当初課題として挙げた××部分については、やはり設計図の修正が必要となり、修正図面を作成した。☆☆研究センターのアドバイスに基づき、××部分の□□を\*\*したことにより、耐久温度も強度も目標以上の成果となった。

本事業全体の経過を簡潔に記入してください。

申請書の変更があった点についても記入してください（変更申請・届出を行ったものは除く）。

(3) 事業の成果

- ・検討項目「仕様設計検討」については、様々な材質を検討した結果、最も採算性の高い〇〇を使用することとした。報告物の試験報告書にて材質毎の評価表を記載した。
- ・検討項目「データ解析」については、想定される様々なパターンを解析し、計算結果が収束されることを確認した。報告物である計算結果報告書に解析の結果を記載した。

申請書の達成目標に対する達成度を記入してください。

また、達成度の根拠となる成果物についても記入してください。

(4) 成果に対する今後の展開及び見通し

今回の検討により開発の方向性が明確になった。来年度の本格開発に向けて、山積している課題を一つずつ解決していきたい。

1 助成事業実施内容及び成果

※申請書記載の達成目標の達成度について記載してください。

(1) 事業内容

〇〇の検討に当たり、課題であった△△について調査し試作を重ねたことで方向性が確認できた。××装置を試験した結果は、申請時に想定された程度を大幅に下回るものとなった。

(2) 事業の経過（日程を含む）

- ・申請時点のスケジュールから約3か月遅れて終了した。原因は、□□□の強度不足が判明し、委託先との調整に時間を要したためである。
- ・当初課題として挙げた××部分については、強度不足が判明した。その後、☆☆研究センターのアドバイスに基づき、××部分の□□を\*\*に変更したものの、当初予定した強度には至らなかった。

(3) 事業の成果

- ・検討項目「仕様設計検討」については、様々な材質を検討したが、当初予定した強度には至らなかった。報告物の試験報告書にて材質毎の評価表を記載した。
- ・検討項目「データ解析」については、想定される様々なパターンを解析し、計算結果が収束されることを確認した。報告物である計算結果報告書に解析の結果を記載した。

(4) 成果に対する今後の展開及び見通し

今回の検討により本技術を用いての開発は断念することとした。今後は、代替技術▲▲を用いての開発が可能か再検討していく予定である。

様式 7－2 号（付表 2）中小企業技術活性化助成事業

助成対象資産表（成果物・試作品及び 50 万円以上購入物一覧表）

成 果 物 等 名 称	個 数	取得価格	ステッカー 整理番号	備 考
*****	1	2 0 0 万円	1	
〇〇〇〇調査報告書（成果物）	1	4 0 万円	—	
		万円		
		万円		
		万円		
		万円		
		万円		

- ・委託・外注による成果物（金額に関わらず必須）及び1 件あたり税抜 50 万円以上の購入物を記入してください。
- ・1 件あたり税抜 50 万円以上の、委託・外注による成果物（試験・評価レポート等は除く）及び購入物には公社配布のステッカーを貼付した写真を添付してください。
- ・「ステッカー整理番号」は公社配布のステッカーに記入した番号と合わせてください。